

「JKビジネス」やSNSによる性被害増加

何げない写真投稿に注意を

親密な接客を売りにした女子高生の「JKビジネス」や交流サイト(SNS)による若者の性被害が後を絶たない。危険性や被害を防ぐ方法を知ってもらおうと、明石西高校(明石市二見町西二見)で講演会があった。「学生団体SMILE(スマイル)」創設者の迫裕太さん(29)＝東京＝が、約615人の生徒を前に「何かあったら一人でいいから誰かに相談してほしい」と語った。(領五菜月)



性被害防止にできることなどを説明する
迫裕太さん＝明石西高校

明石西高で講演会 危険性や防ぐ方法紹介

迫さんによると交流サイト(SNS)で被害に遭うケースが増えている。投稿写真から自宅や頻繁に利用する場所が分かかってしまうと解説。瞳に反射する景色から特定されるケースもあるといい、何げない写真に個人情報や写っていないか気を付けてと呼びかけた。

次いで「JKビジネス」の仕組みや危険性を解説。警察の取り締まりを避けるため、女子高生が観光案内する「JK観光案内」や朝に目覚ましの電話をかける「JKモーニング」など、違法性が見えにくい名目に変えてビジネスを展開しているという。また、店のオーナーや店長などが家族のように親しく接し、辞めづらい状況をつくり上げる。県内でも高収入のアルバイトに参加したり、オンラインゲームで知り合った人と会ったりして被害に遭ったケースがあると紹介した。

また「JKビジネス」などのアルバイトを友人の誘いから始めるケースが多いと話す。迫さんは「誘ってきた友人を救えるのは誘われた人だけ」といい「友人だからこそ立ち止まって一緒に考えて」と呼びかけた。

2年生の大辻佳加さん(17)は「周りの人を大切にして相談し合える関係をつくりたい」と話した。

兵庫県警や文部科学省などは、相談できる電話窓口を設置している。警察相談専用窓口☎#9110、県警本部少年課ヤングトーク☎0120・786109、24時間子供SOSダイヤル☎0120・078310